

「ふるさと納税」(土手)

秋の味覚を存分に味わって、3kg 程太ってしまいました。プロ野球日本シリーズやハロウィンも終わり、早いもので今年もあと2か月となりました。年末までに！と気になっているのが「ふるさと納税」(寄付をしてお礼の品をもらう制度)です。今頃か？と言われてしまいそうですが、私自身まだやった事がないのでそろそろやってみようと思います。ホームページを見ると大変わかりやすく構成されていて、お礼の品が動画でアピールされていたり、寄付の支払いがクレジットカード可の自治体もあって、まるで通販です。これから船越事務所は繁忙期へと突入してまいりますので、元気に乗り切れるような品をゲットしたいと思います。おすすめの品がありましたら、是非教えてくださいね！



今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード：インフルエンサー】

他者や世間に影響を与える人のこと。SNSやブログ、動画を活用して個人が情報を発信できるようになったことで、近年では特に消費行動において強い影響力を持つ人物としてインターネットマーケティングの分野で多く用いられる。人気タレントやモデル、感度が高い一般人などの発信力を利用し、商品に関する記事や動画、クチコミの投稿を通じて自社の認知向上やブランド戦略、売り上げ拡大につなげる企業も多く出てきている。

偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

【律儀さで築いた加賀藩の礎：前田利家】

加賀百万石の祖となった前田利家は、尾張国・荒子城の城主、前田利春の四男として1537年に生まれたといわれています(諸説あり)。同じ頃に豊臣秀吉も生を受けており、後に利家は、天下人となった秀吉の厚い信頼を得ることとなります。利家の父が織田信長の父・信秀に仕えていたことから、幼くして信長に仕え始めると、初陣で敵の首を討ちとり信長への忠誠を示します。



しかし思わぬトラブルがきっかけで織田家を追われ、その後、約2年間にわたり不遇の浪人生活を送ることになります。この間、利家は多くの書物に触れて見識を深め、人間的に大きく成長します。その後、戦功を認められ織田家帰参を許されると頭角を現し38歳で領地を与えられて大名となり、能登一国を任されるようになります。本能寺の変で信長が没した後、織田家の後継を巡って恩人・柴田勝家と親友・豊臣秀吉が争った賤ヶ岳(しずがたけ)の戦いでは、どちらにつくか苦渋の選択を迫られた利家でしたが、最終的に秀吉に臣従。金沢城に拠点を置いて領国経営にも手腕を発揮し、栄華を誇った加賀百万石の礎を築きます。そんな利家の人柄は、とにかく律儀だったとか。短気な一面もありつつ義理堅く細やかな心配りも欠かさない利家は、周囲の人望を集めました。正妻・まつを大切に、妻の力も上手に借りて出世を遂げた62年間の生涯でした。

今を生きる

先人の言葉

想像できることは
すべて現実なのだ

スペインの世界的な画家・彫刻家であるパブロ・ピカソの言葉。頭の中に鮮明にイメージできたことは、すでにその時点で具現化に向けて走り始めているのだろう。

トレンドを斬る!

ナッツやドライフルーツなどの間食をとることで極端な空腹やドカ食いを回避する「ヘルシースナッキング」は米国が発祥で、

日本でも広まりつつある食習慣です。小腹を満たすチョコやビスケットなどの菓子類に加え、より健康的な生鮮スナックとして生のベビーキャロットまで販売されています。本格的なフレーバーのビーフジャーキーは高タンパク質なミートスナックとして幅広い年齢層に好評だとか。従来にはなかった新たな習慣として健康間食ブームは躍進中です。



365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント: 【「ぶれない信念」という信念】

会社というのは与えられた仕事を単にこなす場所ではなく、その人の夢や信念を果たす場所なのです——。ザ・リッツ・カールトン・ホテルの創業に参画したホルスト・シュルツ氏の言葉です。信念は成功に欠かせない要素だと昔からよくいわれます。経営者セミナーに参加したS氏もその場で信念の重要性をたたきこまれ帰宅後、すぐ毛筆で「ぶれない信念」と書いて壁に貼り、毎朝毎晩「ぶれない信念」と胸に刻んでいたそうです。しばらくして同窓会に参加したS氏は、懐かしいクラスメイトたちに「やっぱりね、商売は信念が大事なんだよ」と熱く語っていたところ、その中の一人からこんな質問を受けたそうです。



「ところで、お前の信念って何?」「おっ、いい質問だね」張り切って答えようとしたS氏ですが、なぜか言葉が続きません。そのとき初めて気が付きました。肝心の信念が・・・ない! 「ぶれない信念」のインパクトが強烈だったのか、「ぶれない信念」という言葉自体が信念になってしまい、肝心の信念の中身がカラっぽだったのです。

こういう人いるいる! と言いたいところですが、実は誰にでもよくあることなのです。朝礼で「今は大変な時期ですが、この状況から決して逃げ出さず、信念を持って努力を続ければ必ず道は開けると信じています」と社員を鼓舞する社長。わが社の信念、自分の信念、ちゃんと理解して話しているでしょうか。その信念を社員と共有できていますか。「よし頑張るぞ!」「何を?」「何だっけ?」みたいなことになっていないでしょうか。元リコー会長の桜井正光氏もかつて「トップが何事かを決断する場合、情熱と信念を持って自分の考えを説かなければ人はついてこない」とおっしゃいました。欧州でのビジネス経験が長かった桜井氏は「環境への配慮は企業の競争力強化につながる」との信念を持つようになり、その信念のもとで環境経営を加速したそうです。「ぶれない信念」が信念になっていないか今一度、自分と向き合ってみてくださいね。



トナリの

本棚



【すごいストレッチ】

イラスト付きでイメージが湧きやすく、簡単にその場でできるストレッチの解説本です。なぜ肩や首が凝るのか? ストレッチで筋肉や血流にどんな変化が起こるのか? など、楽しいイラストで分かりやすいので、一家に一冊あると重宝します。

船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町 1-1-1 中川ビル 3階

TEL: 0773-22-3708 FAX: 0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております ☺☺☺☺☺☺